

とうきょう すくわくプログラム活動報告書〈令和7年度〉

法人名	社会福祉法人崇仁会
施設名	代沢みこころ保育園
所在	世田谷区代沢2-27-1
クラス	うさぎ組 2歳児

1. 活動のテーマ

〈テーマ〉

自然 ～食育:夏野菜を育てて、味わってみる。～

〈テーマの設定理由〉

毎日の給食を楽しみにしている子どもたちは、食べることが大好きです。食べることは好きでも、野菜は少し苦手とする子もいました。そんな子どもたちの姿を見て、「自分たちが育てた野菜なら食べてみよう」という気持ち、「友だちと一緒に育てる達成感や喜びを味わえる」という気持ちになるのではと考え、夏野菜を育てました。自分たちで苗を植えてから、毎日の水やり、野菜の生長過程、収穫して調理した物を食べてみることで、自然の恵みに感謝する気持ちを忘れずに食べることの大切さに繋がると良いと思い、取り組みました。

2. 活動スケジュール

5月初旬 野菜の苗植え

5月～7月 水やりをしながら、苗の生長過程や花の確認、実の色や形、大きさなどを観察

7月下旬 収穫して味わい、野菜への興味関心を高める。

8月～9月 最後の収穫を終えて、枯れてしまったので野菜の株を引き抜き、プランターを片付ける。

3. 活動のために準備した素材や道具

- ・ミニトマト、ナス(それぞれ苗を2株ずつ)
- ・プランター2つ
- ・培養土
- ・ジョウロ2個、ペットボトルジョウロ1個
- ・スコップ、支柱(直立タイプとUの字タイプ)

4. 環境構成

1つのプランターに1種類の野菜を植えるよう、プランターと土を用意。

朝と夕方に水やりを行い、やりたい子ができるようにした。(全員が水やりを経験した)

毎日生長過程が見れるように、クラスのテラスに置いた。

5. 探究活動の実践

〈活動内容〉

5月9日〈野菜の苗植え〉

保育士が野菜の苗を見せて、子どもと一緒に苗植えをした。苗植えをする子と水やりとする子で分担しながら進めた。



～7月中旬〈野菜の水やりと観察〉

朝の時間に保育士と水やりをした。保育室の窓から野菜の生長が見えるので、今日は花が咲いているのか、実になっているのか登園した時に見ていた。実になっている途中の段階でも少しずつ大きくなっていることを保育士や友だち同士で共有する姿があった。



7月後半～8月中旬〈野菜の収穫と野菜を味わう〉

収穫した野菜を給食の先生に渡して、調理していただいた。主に給食で提供してもらい、味噌汁の具やサラダに出してもらい味わって食べた。



8月中旬～〈片付け〉

野菜の収穫を終え、枯れた野菜の株を片付けた。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育士との関わり〉

5月9日〈野菜の苗を植える〉

野菜の担当は決めずに、やりたい子が苗植えや水やりをできるようにした。保育士が苗植えの見本を見せると真剣な表情で見ている。実際に苗植えをする時にはそっと植える姿があった。水やりをする時には「はやくたべたいな」と期待感をもったり、「おおきくなれ、おおきくなれ」とおまじないをしていた。



～7月中旬

毎日野菜の生長を確認。朝登園してから「おおきくなっているかな?」「もうたべられるかな?」と野菜の様子を見ていた。「みずやりしなくちゃね」と率先して水やりをしていた。水やりをする時には「おおきくなれ、おおきくなれ」と水やりをしている子と水やりをしている様子を見ている子たちで、おまじないをしていた。実が少しずつ見られるようになり、形が見られるようになると「もうたべられる?」「みどりいろだね」と実の様子を保育士や友だちと共有する姿があった。気温も高くなっているので朝水やりをしても夕方には土が乾いてしまうので、1日に2回水やりをした。朝に水やりができなかった子が夕方に水やりをすることで、順番で水やりをすることができた。水やりをする際には子どもたちから「とまとやりたい」「なすやる」と保育士に伝える姿があった。

7月後半～8月中旬〈野菜を味わう〉

朝に野菜を収穫後、給食室へ持っていき「とまとができました」「なすができました」と嬉しそうに持って行った。渡す際には「おねがいします」と言い、給食さんからどうやって食べたいか聞かれると、少し迷いながら「サラダにしたい」「すーぷにいれてほしい」「やいてたべたい」と子どもたちからリクエストしていた。給食に提供されると「うさぎさんのとまとだ、なすだ」と嬉しそうに見ていた。実際に食べると「おいしい」と言う子もいたが、「すっぱいね」と言う子もいた。野菜が苦手な子も少しは食べてみようとする子がいた。友だちや保育士と「おいしいね」「すっぱいね」と食べた感想を共有していた。



6. 振り返り

〈振り返りによって得た保育士の気づき、反省、次回に向けて〉

・子どもたちは野菜を苦手とする子が多かったので、夏野菜の栽培を通して少しでも野菜に興味をもって食べてみようとする姿が見られると良いと感じて始めた。実際に育てている時から「はやくたべたいな」「いつたべられる?」と心待ちにしていた。給食で提供されると「おいしいね」「すっぱい」「ちょっとはたべれたよ」とそれぞれ教えてくれた。野菜が苦手な子も1回は食べられたので、自分たちで野菜を育てることから食への関心が少しだけ出てきたようにも見られた。

・保育士が声掛けしなくても子どもたちから水やりをしようとする姿や少しの変化にも気付いたりして保育士や友だちと共有する姿を見る場面が多かった。

・反省点としてはトマトの品種の影響なのか実になるまでのスピードにバラつきがあった。実になっている物は沢山あったが、赤くなるまでに時間を要したので収穫できる個数も日によって少ない時もあれば多い時もあったので、人数分提供してもらうまで収穫してから食べられる日まで日数が空いてしまうこともあった。

・夏野菜を育てることに期待感や楽しみをもっていたので、次回は冬野菜を育てていき、野菜だけではなく果物も育てることを行っていきたい。